

情報デザインの実践 2 (文書作成と AI 活用) informatics I-013

教科書該当なし 特別授業

書きたい文書を HTML 形式で書いてみる

(夏休みの宿題にしたい／9 月 7 日以降の月曜日の授業以降文書を発表)

- ・内容
 - ・なんでもいい
 - ・問題提起と改善依頼
 - ・すきなものの紹介
- ・構成
 - ・現状(問題・背景等)の共有, その現状がよりよくなる(問題解決がされた)結果, そのつながり(意見や理由等)の三要素があれば基本的には OK
 - ・構成の例
 - ・序論・本論・結論型
 - ・序論(問題提起とテーマの背景)
 - ・本論(自分の意見, 理由・根拠)
 - ・結論(まとめ)
 - ・NVC(非暴力コミュニケーション)型
 - ・観察(出来事を解釈せずにデータのまま書く)
 - ・感情(出来事で生まれた感情を書く(出来事を解釈した結果得られる情報ともいえる))
 - ・ニーズ(自分の価値観, 何を重視しているかを書く)
 - ・リクエスト(相手にしてほしい具体的なこと)
 - ・問題解決型
 - ・問題(理想とのギャップ, 困りごと)
 - ・目的(理想的な状態になった結果, 何が変わるか)
 - ・目標(解決のための手段)
 - ・評価(どのように変化したか)
 - ・ほかに演繹型, 帰納型, ストーリー型などもある。

HTML のおすすめの学び方

- ・k-takatsuji.jp で質問する
- ・ネットで検索する
- ・AI(ChatGPT 等)に聞く
- ・Web ページの HTML を見て学ぶ

HTML の作成方法 (水曜日か木曜日に動画をあげます)

1. Mery を開く
2. 左上のファイル(F)をクリック
3. 新規作成(N)をクリック, または開く(O)をクリックして HTML ファイルを選択
4. 新規作成をした場合は, ファイル(F) → 名前をつけて保存(A) でファイル名を「なんでもいい.html」にして保存(最後が.html になっていることが重要)
5. HTML を書く
6. ファイル(F) → 名前をつけて保存(A) または上書き保存(S)を選択
7. 保存したファイルをダブルクリックすると Chrome や Edge などのブラウザで開く

ChatGPT の使い方参考例

- ・お金に余裕があるなら課金した方がよい
 - ・無料版でも有用
 - ・アカウント登録だけはした方がいい(ログインせずに使うと, あまり質がよくなかった)
- ・月額 3,000 円くらいのと 30,000 円くらいのがある
- ・高辻は 30,000 円くらいのを払っている
- ・コピペだけでも割と使える
- ・いろんな使い方が検索すると出てくる

・<https://chatgpt.com/share/686c4ee3-eaa4-8006-9102-e76caf1c4fcc>

